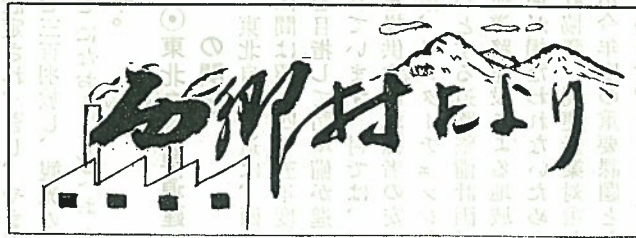


西郷村の人口及世帯数 (44. 7. 1 現在)

世帯数	2,197
人口	10,491
男	女
5,162	5,329



発行日 昭和44年7月15日

発行所
西郷村役場
(電話磐城熊倉)
1番・2番・7番
編集発行人
企画課
印刷所
ワタベ印刷所

伸びる首都圏近郊農村

多方面にふくらむ事業

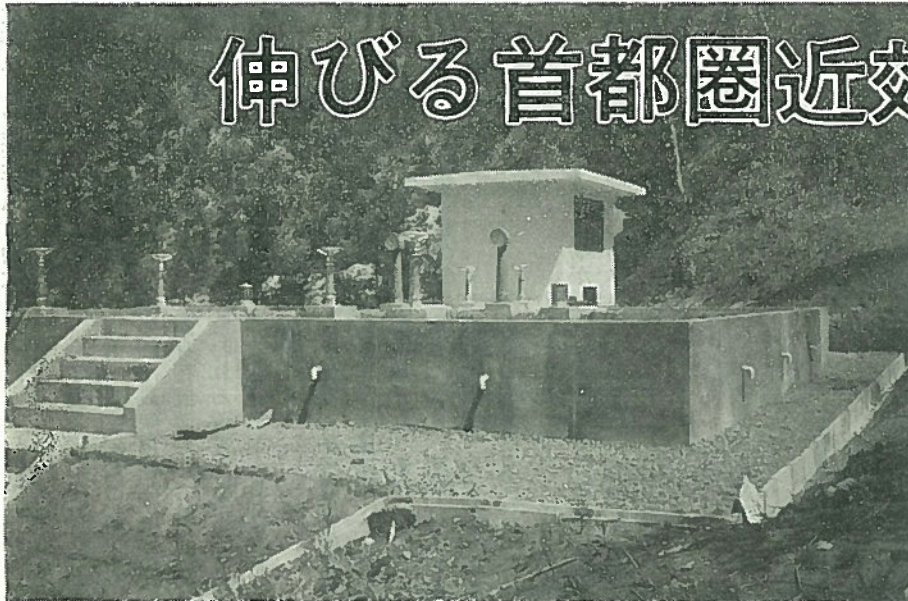
四十四年度は四億の規模

昭和四十四年度も既に四ヶ月余りを経過し、村の行政も新予算にもとづいて、進行しております。村の当初予算は、一般会計で二億五千三百万円を越え、昨年度当初に比較して

算に計上されています。

日本経済の進展と、首都圏の拡大の影響は、観光開発の面、工業進出の面、あるいは、農業の近代化の面など種々の面で私たちの村にも、ひたひたとおし寄せて来ております。このような中で、私たちの村は近年どのような方向に進んでいるのか。又、進んで行くべきなのか。わが村の置かれている立場は極めて複雑であり、単に農業の近代化に集中すればよいとか、あるいは生活環境の整備をはかればよいとか、道路網の整備をはかるとかといった単純明確な重点方針を打ち出すことは困難で、限られた財源の中で極めて多岐にわたる要求が満たされねばならぬ状況にあります。

北部地区簡易水道の配水池



こうに昭和四十四年度の村事業の概略を、第一回定例会での村長のあいさつを骨子として解説しますので、首都圏の外縁近くに位置する西郷村の進みゆく姿をご理解いただきたいと思っております。

◎農業施策について

農業施策の重点は、まず土地基盤の整備です。稲作に要求されている省力とコストダウンの課題は、何はさておいても、土地基盤の整備からでしょう。全国的にこの要求が急激に高まり、予算獲得が極めて困難な状況にあります。この中で、東北自動車道関連土地改良事業として、上新田地区の水田の整備が決定され、四十ヘクタールの改良が行われます。来年度からは、更に黒川、大清水、米地区の基盤整備を実現しよう、準備を進めているところです。

更に山村振興事業として上折口原、大清水地区に小

規模な排水、改良事業が計画されております。又、米作りと関連して畜産振興も重点な課題であり、畜産共進会を昨年に引き続き実施すべく計画しています。更に布引山麓の国有林野を解放して大規模模範牧場の造成計画が進められ、里山の小規模草地造成にも補助金の交付が予算化されています。



【原中の国道横断歩道橋】

(次頁より)

林業も、観光、奥地開発農業、畜産と関連して重要な部門であり、今年度は長坂の下屋線の工事が予算化され、近い将来において林業構造改善事業も企画されています。また、今年度から甲子地区に有料の猟区が設定され、きじ、やまどりや三百羽放し、観光の一役をになおうとしております。

●東北自動車道建設の関連

東北自動車道は、西郷の区間は昭和四十五年度着工を目指して諸準備が進められています。村では、用地を提供する地権者の安定施策、インターチェンジを中心とする道路整備計画、高速道路建設による地域の利便が損なわれないための設計協議、関連農業対策などが今年度の重要課題となっています。

●農業の変容にともなう勤労所得者に対する施策

現在の村の姿を見ると農業以外の勤労所得者の占める割合が、かなり高いものになっている事はまぎれもない事実です。農業自体の

改善による農家所得の増大は勿論必要ですが、一方で、優良で安定した企業の誘致による総合所得の増大をはかる事も大切です。現在用地買収を進めている昭和化成品株式会社、健全な生産体勢に入ることができようバックアップすることが今年度の重要課題です。

又、村全体の姿を考えた計画性のある企業誘致が必要とされています。

●観光の開発

赤面山に国設スキー場が認可されて、今冬からスタートします。リフトその他の諸施設建設が計画されており、林野庁と自治体との連繋による健全明朗な施設の建設が進められます。

那須甲子横断道路も着工以来福島県側が三年目、栃木県側が二年目を迎え、国設スキー場への進入とも関連して、今年度は大幅な進捗が期待されています。

その他那須甲子横断道路の甲子側の起点約五九〇メートルが舗装されます。

奥甲子の登山道路が、甲子温泉元湯を起点として五十万円の予算で整備されます。

●村道の整備

今年度最大の工事は、米熊倉、鶴生線の改良です。これは農業用揮発油税の財源身替農道として県営で行なわれる改良工事、いわゆる農農農道と称せられるものです。

下新田、柏野線の産業道路も、今年度はいよいよ全線開通となります。それに引きつゞき、昭和化成品株式会社工場への産業道路も計画しております。

その他、早急に改良補修を必要とする各地の村道も種々の制度の活用により逐次整備するよう努力しています。

●自衛隊演習場との関連事業

昨年度は防衛施設関係の補助によつて、有線放送電話施設が完成しましたが、引き続き演習場敷舎から演習場への村道の改良が実施される予定です。又、追原から川谷までの道路と橋の改良の調査が進められることになっています。

●生活環境の改善について

北部地区簡易水道は、今年度完成の予定です。又、

原中三区方面は小田倉簡易水道の区域外になつており不便をしていますので、目下給水区域の拡張を計画中です。これらが完成しますと村内で折口、折口原方面だけが、水道の未設区域となるわけですので、これらの方面への水道布設が今後の課題となります。

又、西白河地方のし尿処理場、塵芥処理場が完成し西郷地区もより有効適切にその活用を計るべく、こまかい配慮と工夫を進めているところです。

●交通安全と防災について

道路標識、看板、カーブミラー、ガードレールなど交通安全のための道路施設をできるだけ充実して行くよう計画しています。又、

防犯灯の設置も村内全般にわたり、必要な所から設置の補助をするよう準備しています。

防災施設としては、自動車ポンプ一台、小型動力ポンプ三台を今年度に購入の予定です。

●教育について

教育施設は、昨年度まで熊倉統合小学校の建設、小

田倉小学校、西二中の校舎改築、西二中、西一中、熊倉小の屋体の新築と、年次計画で、大きな施設の改築新築が行なわれて来ましたが、今年度は特別の大きな建設計画はなく、各学校の補修整備に重点が置かれています。

社会教育方面では、文化財調査、民俗資料調査、郷土史の発行が引き続き計画されており、又、婦人学級、青年学級も一段の向上を期しています。

体育面では村民大運動会が、今年度いよいよ第四回を行なうことになり、年々盛大になつて行くこの行事を今年はいよいよ一層盛大有意義に開催すべく計画しています。

●保健衛生と健康保険

わが村は、今迄のみんなの努力によつて、伝染病の発生も極めて少なく、蚊やハエもめだつて減少して来

ました。また各地の用水にこみや汚物がたまつて不衛生なのが目立ちますので、啓蒙宣伝やごみ処理の努力を重ねて、清潔で明るい郷土を築いて行きましよう。

国民健康保険も他に比較し

て低い国保税で、七割給付その他の施策を完遂していますので、さらに向上するように努力を重ねて行きます。

●広報活動について

以上で大体ごく大ざっぱですが、四十四年度の施策の概要を説明しましたが、最後に広報についてお知らせします。

広報は、村当局の方針や施策の状況を理解して頂くため極めて重要なもので、主として、村だよりと有線放送がその手段となりますが、しばらく村だよりの発行が中断していましたが、勢を整備して、今後毎月一回は必ず発行するようにします。有線放送も、取材編集の技術の向上とともに、逐次その内容を充実して行くつもりですので、これまた、よろしく願います。

この外、今年度村内に行される県営事業等がまだまだありますが、それは又後日お知らせすることになります。



農業後継者への朗報

農・村・花・嫁・相・談・員・生・ま・れ・る

わが国経済の目覚ましい成長に伴って、農業労働力の他産業への流出が目立っています。

とりわけ、農業後継者にその影響がいちじるしく、農家労働力の老令化と農繁期労働力の調整難となつてあらわれています。

しかもそれはきびしさを加え、農業後継者の気力の減退と、孤独化に一層の拍車をかけている現況にあります。

このような現象はわが西郷村においても例外ではありません。

昭和四十四年度の西郷村行政相談の窓口として、役所の仕事についてお困りに四十三年度に引き続き村長の推せんにより和知森之助氏が委嘱をされましたので村民の皆さんにご紹介いたします。

「委員のあいさつ」

わたくしは四月一日付で行政管理庁長官より、行政相談委員を委嘱されました。

行政相談委員の仕事は福島行政監察局で行なっている

◆このたび村ではこれらの問題解決のために農村花嫁相談員を村内各方に委嘱して、農業後継者の確保育成対策を図る一方、後継者に花嫁相談活動の強化を期する事になりました。

◆農村花嫁相談員は左の十一名の方々です。

- ・小泉 一造 下折口原
- ・円谷和 三郎 上折口原
- ・鈴木 正次 熊 倉
- ・斎藤 義次 原 中
- ・相山 二男 米
- ・新井 久好 一ノ又
- ・秋山 清作 芝 原
- ・室井 清男 黒 川

第二回村貸付

牛が決定

村では昭和四十二年度から畜産振興基金を設定し、その額は四十三年度で四百万円に達し、すでに昭和四十三年度において、乳牛、和

- ・鈴木 義一 虫 笠
- ・真船 富永 真 船
- ・渡辺 鶴寿 川 谷

(順序不同)

以上、何れもベテラン揃いですが、もしどしどし相談によつて良縁を得られるよう相談員をご利用下さい。

なお、相談員のいない地区については、第二次委嘱を考えております。

(農業委員会事務局)

牛合計十三頭が貸付されていますが、今年度も畜産振興及び農業後継者育成のため、の村有一般牛(乳牛、肉用牛)基礎牛の貸付が六月十七日村有家畜委員会において、次の通り決定しました。

(昭和四十四年五月三十一日申請まで)

◆基礎牛の部

- ・報 徳 八島 時弥
- ・上新田 相川 雅郎
- ・黒 森 金田市四郎

◆一般牛の部

(乳 牛)

- 由井ヶ原 滝沢 正昭
- 真 船 加須我 茂
- 追 原 金田 久義
- 熊 倉 鈴木 登

行政相談委員さまる

西郷村大字熊倉字折口原三六

和 知 森之助

有放二九五二番

行政相談の窓口として、役所の仕事についてお困りに関(公社、公庫、公団等)合は行政相談の対象となります。希望する 県、市町村で行なっている

一切無料で秘密を守り、親身になつてお世話しますから、どうぞ気軽に申し出て下さい。

ことなどについて、相談を業務で国の委任、或いは補助にかけられる業務となつてお二番)にご連絡ください。りますが、民事関係の問題は、警察で扱っている刑事事

選挙人名簿への登録が改正になりました

◇登録方法

選挙人名簿の登録は、本年7月20日から選挙管理委員会が、住民基本台帳の記録に基づいて、登録資格を有する者を毎年9月1日と、原則として選挙が行われる際に職権で登録することになりました。

これからは住民基本台帳に記録されていない者は、選挙人名簿に登録されませんのでご注意ください。

◇登録資格

- ① 本村に住所を有する年令満20才以上の日本国民で、
- ② 本村の住民基本台帳に記録され、3ヶ月以上経過した者。

◇住民基本台帳への届出をしていない方へ

現在選挙人名簿に登録されている方でも、住民の届出をしていない方は、基本台帳に記録されていないため、7月20日に選挙人名簿から抹消されます。したがって、本村に住所を有することが明らかな有権者であつてもまだ住民基本台帳の届出をしていない方は、7月19日まで必ず届出をして下さい。(西郷村選挙管理委員会)

昭和四十四年度 団 体 役 員

【自治青年会】

会 長 菊地公男(鶴生)

副会長 真船善一郎(原中)

〃 高久美智子(高助)

【連合婦人会】

松田ハルヨ(川谷)

【単位婦人会長】

○芝 原 北野 徹

高 助 高久 繁

真 船 藤井 正勝

柏 野 鈴木 丈輔

柏 野 鈴木 正夫

○印は農業後継者です。

羽 太 猪越 節子

熊 倉 植木 カツ

小田倉 小針 成子

川 谷 十文字たつえ

松田ハルヨ



村の観光開発に役 植木振興会が発足

ゆとりのある生活とは、単に経済的、物質的な面の生活だけではないでしよう。

近頃村内で植木盆栽の趣味が盛んになって来た事は、心のゆとりの現れとして喜ばしい事です。

しかもこの趣味は更に発展すれば実利を兼ねることのできる結構な趣味です。

そして、やがてはわが村の観光開発の一翼をになうことができるかも知れません。

ところが今迄同好の士のごく小規模の連絡はあつたでしょうが、全村的な規模の集まりはありませんでした。

このたび、有志相はかり、村中に呼びかけて、西

この会のことをくわしくお知りになりたい方は、幹事の鈴木栄雄までお問い合わせ下さい。

会目的は西郷村の特色を持つた植木盆栽を主体として、同好の士が集まり、相互の親睦融和の中に、技術の研修向上を計り、苗木資材の共同購入とか、先進地の視察、作品の品評会、交換即売会の開催などを行なおうとするものです。

五月二十日現在で既に入会者三十五名に達し、総会で役員も選ばれ、張り切つて第一歩が踏み出されました。

この会にはむづかしい制約とか資格は何もなく、どんなでも気軽に加入できますので、多数の方が参加して下さるようお願いいたします。



郵便受け箱あつせんします

郵便受け箱がないと、郵便物が風雨で汚れたり、不在のとき配達場所がなく、持ち帰えつたりすることが

あります。

又郵便の速達、合理化の意味からも、郵便受け箱の普及運動を行なうことになりました。

あつせんする受け箱は、ほとんどの郵便物が入る寸法の郵政省規格品で、色は赤色と浅黄色です。

又盗難防止のため「カギ」がかけられるようになっています。

値段は七百円です。申し込みはもよりの郵便局へどうぞ。

△白河郵便局▽

●今月は河川愛護月間です。
川へごみを捨てることはやめましょう。

●第一、第三土曜日は農休日です

六月の行事報告

日曜

行事

1 (日)

西白河郡農政連盟協定会
定例町村会、県南高度開発推進協議会
仙台農政局陳情

2 (月)

交通安全協会白河支部総会
県信用保証協会二十周年記念式
国土調査推進協議会

3 (火)

長坂牧野について協議

4 (水)

県砂防協議会役員会、間の原行政区協議
観光地防災対策協議
県食糧対策協議会

5 (木)

県有放協議会総会
県総務公安委員来白
郡山地区林業経営協議会来白
村有林下刈入札

6 (金)

民生委員会、農業委員会
東北自動車道設計変更説明会(米)

7 (土)

村有貸付牛貸付審査委員会
遺族会総会
白河地区観光協会総会
西白河郡農村婦人講座開講式
農免農道期成同盟会総会
ポンプ操法訓練、青年学級開講式
青年会、婦人会、村議会議員交流会
選挙管理委員会
県道路協会総会、雇用促進協議会総会
山国山振連盟総会、広域行政圏打合せ
郡老人クラブ連合会総会、県税表彰式

8 (日)

土木促進協議会主催視察
台地下地区飲用水施設落成式

9 (月)

甲子嶺区設定説明会
棚倉下郷線道路整備促進期成同盟会総会

10 (火)

20 (金)

11 (水)

21 (土)

12 (木)

22 (日)

13 (金)

23 (月)

14 (土)

24 (火)

15 (日)

25 (水)

16 (月)

26 (木)

17 (火)

27 (金)

18 (水)

28 (土)

19 (木)

29 (日)

20 (金)

30 (月)